

## 平成22年2月期 第2四半期決算短信

平成21年9月25日

上場会社名 株式会社 サンワドー  
 コード番号 7430 URL <http://www.sanwado.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 勝弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 葛西 昭蔵  
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月2日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 JQ

TEL 017-782-3200

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年2月期第2四半期の連結業績(平成21年2月21日～平成21年8月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第2四半期	14,615	0.5	160	64.9	129	72.9	13	—
21年2月期第2四半期	14,546	△3.3	97	△49.6	74	△54.0	△54	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第2四半期	2.48	—
21年2月期第2四半期	△10.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第2四半期	18,367	4,332	23.6	820.65
21年2月期	18,000	4,244	23.6	804.00

(参考) 自己資本 22年2月期第2四半期 4,332百万円 21年2月期 4,244百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年2月期	—	0.00	—	—	—
22年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年2月21日～平成22年2月20日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,650	△0.5	420	126.3	330	200.9	100	—	18.94

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 —社 (社名 ) 除外 —社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第2四半期	5,280,000株	21年2月期	5,280,000株
② 期末自己株式数	22年2月期第2四半期	359株	21年2月期	359株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第2四半期	5,279,641株	21年2月期第2四半期	5,279,641株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当該業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。  
なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年2月21日～平成21年8月20日）における国内経済は、4～6月期の実質国内総生産（GDP）速報値が年率3.7%のプラス成長となり最悪期を脱却したといわれておりますが、個人消費や設備投資といった内需は相変わらず弱く、回復の足取りははっきりしておりません。また当社グループの営業基盤である青森県・北海道においては、第2四半期を通し有効求人倍率、失業率とも全国平均より悪化しており消費行動の節約志向から、個人消費は相変わらず冷え込んでおります。

このような経済情勢の中、ホームセンター業界は、店舗数、売場面積が前年に比し増加する一方、価格競争から商品の低価格化が進み、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社店舗については、不採算店であった函館湯川店を平成21年8月20日をもって閉鎖しましたが、ザ・サンワ弘前樋の口店を設備負担の軽減に努めながら改装し、好調な食品部門を増設したことなどが奏功し、売上を押し上げました。

また商品については、「家計応援」お買い得商品として3,000品目を選定し、エブリデーロープライス重点販売商品と位置づけ売上増加につなげました。

この結果、第2四半期連結累計期間の売上は食品部門が前年同期比14.7%、カー・レジャー部門が前年同期比1.4%増加し、その他の部門（リビング、ペット&グリーン、DIY、家電部門等）の減収をカバーし全体では、14,615百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

営業利益は160百万円（前年同期比64.9%増）、経常利益は129百万円（前年同期比72.9%増）と増益となりました。これは、「家計応援」お買い得商品のロープライス戦略を展開したことから売上総利益が前年同期比149百万円減少しましたが、人時生産性向上による人件費の節減と広告宣伝費の見直しを中心に販売費及び一般管理費を前年同期比212百万円削減したことによります。第2四半期純利益は、第1四半期におけるたな卸資産評価損93百万円の特別損失計上に加え、第2四半期において店舗改装（ザ・サンワ弘前樋の口店）に係る固定資産除却損9百万円等の発生がありましたが、当四半期純利益は13百万円を確保することができました（前年同期は54百万円の純損失）。

（注）前年同期比増減率及び前年同期金額は参考として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産が18,367百万円となり、前連結会計年度末比366百万円の増加となりました。これは主に、商品及び製品212百万円、敷金及び保証金57百万円の減少がありましたが、投資有価証券317百万円、現金及び預金313百万円の増加によるものであります。

負債は14,034百万円となり、前連結会計年度末比278百万円の増加となりました。これは主に、長・短期借入金の純減789百万円がありましたが、支払手形及び買掛金1,023百万円の増加によるものであります。

純資産は4,332百万円となり、前連結会計年度末比87百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金39百万円の減少がありましたが、その他有価証券評価差額金127百万円の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は23.6%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、1,368百万円となりました。

これは主に、売上債権の増加90百万円がありましたが、仕入債務の増加1,021百万円、たな卸資産の減少118百万円、減価償却費96百万円、たな卸資産評価損93百万円、法人税等の還付額21百万円、税金等調整前四半期純利益16百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、137百万円となりました。

これは主に、敷金及び保証金の支出・収入の純収入増57百万円がありましたが、投資有価証券の取得による支出148百万円、有形固定資産の取得による支出34百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は917百万円となりました。

これは主に、長・短期借入金の純減789百万円、社債の発行・償還による純減69百万円、配当金の支払52百万円等によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

下半期の経済環境は引き続き厳しく、消費動向の好転は期待できないと見込まれますが、売上高は主要部門である食品が堅調に推移しており、リビング、ペット&グリーン、カー・レジャーの各部門は秋・冬商戦の取組みによって当初計画の達成は可能と見通しております。

課題である売上総利益は、仕入原価折衝による値入率の改善、商品ロスの削減に努め、計画の達成を図ります。

さらに、販管費の削減を継続的に進めてまいりますので通期の業績見通しについては連結・個別とも変更いたしておりません。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### 4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・簡便な会計処理

重要性が乏しいため記載を省略しております。

・四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産のうち、従来、フランチャイズ家電商品は、移動平均法による低価法、ブランドショップ専門店等の商品は、個別法による原価法、それ以外の商品は主として売価還元法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分）が適用されたことに伴い、フランチャイズ家電商品は、移動平均法による原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、ブランドショップ専門店等の商品は、個別法による原価法(収益性の低下にもとづく簿価切下げの方法)、それ以外の商品は主として売価還元法による低価法により算定しております。なお、期首在庫に含まれる変更差額(93,842千円)は特別損失に計上しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益及び経常利益が18,651千円減少し、税金等調整前四半期純利益は、112,493千円減少しております。

③リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。なお、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	620,712	307,352
受取手形及び売掛金	383,944	295,029
商品及び製品	4,590,815	4,803,247
繰延税金資産	63,625	51,139
その他	137,452	140,139
貸倒引当金	△1,089	△992
流動資産合計	5,795,460	5,595,913
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,389,837	2,457,989
土地	5,454,000	5,462,490
その他(純額)	72,752	36,569
有形固定資産合計	7,916,590	7,957,049
無形固定資産	28,730	22,439
投資その他の資産		
投資有価証券	810,280	492,334
敷金及び保証金	3,355,481	3,413,255
繰延税金資産	50,923	92,210
その他	422,977	439,341
貸倒引当金	△13,240	△11,821
投資その他の資産合計	4,626,423	4,425,320
固定資産合計	12,571,744	12,404,809
資産合計	18,367,205	18,000,723
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,880,595	2,857,183
短期借入金	890,000	2,040,000
1年内返済予定の長期借入金	2,829,656	1,339,956
1年内償還予定の社債	1,060,000	1,090,000
未払法人税等	24,785	1,200
賞与引当金	29,290	29,290
ポイント引当金	54,508	50,786
その他	567,768	515,846
流動負債合計	9,336,603	7,924,262

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月20日)
<b>固定負債</b>		
社債	1,570,000	1,600,000
長期借入金	2,855,521	3,985,149
退職給付引当金	73,493	70,058
役員退職慰労引当金	70,740	70,980
その他	128,099	105,443
<b>固定負債合計</b>	<b>4,697,854</b>	<b>5,831,631</b>
<b>負債合計</b>	<b>14,034,458</b>	<b>13,755,893</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	704,025	704,025
資本剰余金	747,805	747,805
利益剰余金	2,812,472	2,852,157
自己株式	△163	△163
<b>株主資本合計</b>	<b>4,264,138</b>	<b>4,303,824</b>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	68,608	△58,994
評価・換算差額等合計	68,608	△58,994
<b>純資産合計</b>	<b>4,332,747</b>	<b>4,244,829</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>18,367,205</b>	<b>18,000,723</b>

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)
売上高	14,615,311
売上原価	11,547,429
売上総利益	3,067,882
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	1,108,631
広告宣伝費	206,495
不動産賃借料	514,359
賞与引当金繰入額	29,290
ポイント引当金繰入額	54,508
退職給付費用	11,758
その他	981,923
販売費及び一般管理費合計	2,906,966
営業利益	160,915
営業外収益	
受取利息	5,692
受取配当金	4,769
不動産賃貸料	15,631
その他	36,793
営業外収益合計	62,886
営業外費用	
支払利息	74,271
社債発行費償却	9,039
支払保証料	5,208
その他	6,126
営業外費用合計	94,646
経常利益	129,155
特別利益	
固定資産売却益	41
特別利益合計	41
特別損失	
固定資産除却損	9,049
たな卸資産評価損	93,842
ゴルフ会員権評価損	1,400
減損損失	8,489
その他	247
特別損失合計	113,029
税金等調整前四半期純利益	16,166
法人税、住民税及び事業税	15,895
法人税等調整額	△12,839
法人税等合計	3,055
四半期純利益	13,111



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	16,166
減価償却費	96,981
減損損失	8,489
固定資産売却損益 (△は益)	87
固定資産除却損	9,049
たな卸資産評価損	93,842
売上債権の増減額 (△は増加)	△90,634
たな卸資産の増減額 (△は増加)	118,589
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,021,113
その他	147,024
小計	1,420,709
利息及び配当金の受取額	10,012
利息の支払額	△71,840
保険金の受取額	70
法人税等の支払額	△11,611
法人税等の還付額	21,233
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,368,574
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△34,971
投資有価証券の取得による支出	△148,864
敷金及び保証金の差入による支出	△53,347
敷金及び保証金の回収による収入	111,121
その他	△11,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137,864
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	860,000
短期借入金の返済による支出	△2,010,000
長期借入れによる収入	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△639,928
社債の発行による収入	490,960
社債の償還による支出	△560,000
配当金の支払額	△52,844
その他	△6,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	△917,943
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,692
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	314,458
現金及び現金同等物の期首残高	273,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	587,953

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成21年2月21日 至平成21年8月20日）

小売業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計額及び営業利益に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成21年2月21日 至平成21年8月20日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自平成21年2月21日 至平成21年8月20日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表

## (1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成20年2月21日 至 平成20年8月20日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		14,546,533	100.0
II 売上原価		11,329,033	77.9
売上総利益		3,217,500	22.1
III 販売費及び一般管理費			
1. 給与手当	1,180,937		
2. 広告宣伝費	261,203		
3. 不動産賃借料	521,429		
4. 賞与引当金繰入額	28,400		
5. 役員賞与引当金繰入額	2,625		
6. ポイント費用引当金繰入額	48,476		
7. 退職給付費用	4,401		
8. その他	1,072,458	3,119,933	21.4
営業利益		97,567	0.7
IV 営業外収益			
1. 受取利息	5,320		
2. 受取配当金	4,481		
3. 不動産賃貸料	16,727		
4. カード会員獲得報奨金	16,354		
5. 発注システム使用料	9,344		
6. その他	19,360	71,588	0.5
V 営業外費用			
1. 支払利息	79,188		
2. 社債保証料	8,740		
3. その他	6,546	94,476	0.7
経常利益		74,679	0.5
VI 特別利益			
1. 固定資産売却益	11,629		
2. 役員退職慰労引当金戻入益	780	12,409	0.1
VII 特別損失			
1. 固定資産売却損	21		
2. 固定資産除却損	1,475		
3. 投資有価証券評価損	95,842		
4. 減損損失	6,319	103,658	0.7
税金等調整前中間純損失		16,570	0.1
法人税、住民税及び事業税	32,934		
法人税等調整額	4,779	37,714	0.3
中間純損失		54,284	0.4

## (2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成20年2月21日 至 平成20年8月20日)
区分	金額 (千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純損失 (△)	△16,570
減価償却費	112,262
売上債権の増減額 (増加: △)	△66,173
たな卸資産の増減額 (増加: △)	△108,678
仕入債務の増減額 (減少: △)	792,524
その他	131,207
小計	844,572
法人税等の支払額	△58,153
その他	△66,090
営業活動によるキャッシュ・フロー	720,329
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△24,514
有形固定資産の売却による収入	45,342
投資有価証券の取得による支出	△4,301
投資有価証券の売却による収入	150
保証金・敷金の差入による支出	△53,147
保証金・敷金の回収による収入	113,494
その他	△89,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,146
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	1,430,000
短期借入金の返済による支出	△1,880,000
長期借入れによる収入	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△526,140
社債の発行による収入	—
社債の償還による支出	△830,000
配当金の支払額	△52,601
その他	△6,691
財務活動によるキャッシュ・フロー	△365,433
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△3
<b>V 現金及び現金同等物の増加額</b>	342,745
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	298,551
<b>VII 現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	641,297

（3）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年2月21日 至平成20年8月20日）

小売業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計額及び営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年2月21日 至平成20年8月20日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年2月21日 至平成20年8月20日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## 商品別売上状況

(単位：千円、%)

区 分	前中間連結会計期間 (自 平成20年2月21日 至 平成20年8月20日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)		前 年 同期比	(参考) 前期 (平成21年2月期)		
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	
小 売	リビング	3,646,986	25.1	3,593,194	24.6	98.5	7,280,831	25.3
	ペット&グリーン	2,525,892	17.4	2,473,053	16.9	97.9	4,493,940	15.6
	カー・レジャー	2,147,480	14.7	2,178,291	14.9	101.4	4,211,350	14.6
	食 品	2,500,574	17.2	2,867,002	19.6	114.7	4,976,549	17.3
	D I Y	1,250,298	8.6	1,167,876	8.0	93.4	2,423,919	8.4
	家 電	1,035,640	7.1	979,750	6.7	94.6	2,376,621	8.3
	ブ ラ ン ド	848,879	5.8	765,639	5.3	90.2	1,826,506	6.3
	そ の 他	378,220	2.6	368,729	2.5	97.5	757,355	2.7
小売計	14,333,972	98.5	14,393,537	98.5	100.4	28,347,074	98.5	
卸売	212,560	1.5	221,773	1.5	104.3	440,242	1.5	
合計	14,546,533	100.0	14,615,311	100.0	100.5	28,787,316	100.0	

(注) 1. 数量については取扱商品が多岐にわたり数量表示が困難なため記載を省略いたしました。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 小売部門の商品別の各構成内容は、次のとおりであります。

(1) リビング

(日用雑貨、季節・催事用品、家庭用品、衣料・服飾、文具、インテリア、シューズ、玩具、CD、100円ショップ、たばこ)

(2) ペット&グリーン

(園芸用品、ペット用品)

(3) カー・レジャー

(カー用品、釣り用品、スポーツ・レジャー用品、自転車)

(4) 食品

(食品、業務スーパー、酒)

(5) D I Y

(大工用品、エクステリア用品、リフォーム)

(6) 家電

(7) ブランド

(8) その他